

第2学年 算数学習展開案

令和5年2月中旬

指導者：2年担任 場所：教室

2/13（月）2時間目：2－2、3時間目2－1

2/15（水）2時間目：2－4、3時間目2－3

○児童の実態と教師の願い

2年の児童は、自分の考えを他者に伝えたい、交流したいという児童が多い。友達との話し合い活動や一緒に活動することにも慣れており、自然と友達と協力し合う活動に取り組むことができる。その一方で、自分の考えに自信がもてなかったり、自分だけでは考えを書くことができなかつたりする児童も一定数いる。低学年における学習はどれも今後の学習の基礎となるものが多く、確実に定着させていくとともに、苦手意識をもたない手立てが必要だと考える。

算数ではどの子も自信をもって解を導く機会を作ることで、これからへつなげる学習に意欲をもたせていきたいと考える。また、子ども達が自己選択をしながら問題解決をしていくとともに、友達との協同的な学びを通して他者理解を深めることで、算数の楽しさを感じていって欲しいと願っている。

○単元名 1を分けて

○単元の目標

・1/2、1/3など簡単な分数について知り、具体物を操作してそれらの大きさを作ることができるとともに、もとの大きさを捉えたり表現したりする力を身につける。また、分数に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。

○この単元における学びの構造転換

【単元について】

時間・児童が自分の考えをもてるよう、活動時間や考える時間を十分に確保する。

方法・児童が自分で材料を選び、試行錯誤できるように教材ごとに箱を用意して準備する。（紙ひも、折り紙、紙テープ、丸シール、半分にできる形の紙、いびつな形の紙）
・話し合い活動が自然とできるように、グループの形で活動を行う。

環境・自分に適した材料を選択できるよう、多種多様な材料を用意する。
・個人での活動、友達との協同的な活動を選択できるようグループの形で活動を行う。

【学びの構造転換の視点からの工夫】

①学びの個別化

調べる段階で個人で課題を選び、学習を行う。材料ごとにブースを設けることにより、個人で操作したり、同じ材料を選んでいる児童同士で話し合いながら操作したりする活動を通して問題解決を行う。

②学びの探究化

今回の学習では、個人やグループで学習を行う。自分の考えと他者の考えを比較したり、交流したりすることによって、課題に対する理解を深める。

③学びの協同化

個人で調べたり、友達と交流したりしながら学習を行うことで、自分で操作していない活動についても知るができる。様々な材料を用いた具体的な活動を通して、「半分」の正しい意味に気が付くことができるようにする。

○単元の学習展開と評価の計画（全6時間）

時	学習活動・学習課題	学習評価	
		つまずきと支援 (指導に生かす評価)	総括に用いる評価 (記録に残す評価)
1	1/2の大きさや、意味を理解する。	発言・記述・観察	発言・記述・観察
2	等分の意味や、等分と倍の関係を知り、1/2の大きさについて理解を深める。	発言・記述	発言・記述
3	1/4、1/8の大きさや分数の意味を理解する。	発言・記述	発言・記述
4	もとの大きさが違うと1/2の大きさも違うことに気づき、分数の意味について理解を深める。	発言・記述	発言・記述
5	1/2、1/3、1/4の大きさを作る活動をとおして、乗法、除法についての素地となる見方を考える。	発言・記述・観察	発言・記述・観察
6	学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	発言・記述	発言・記述

○本時（1時／6時）のねらい

・第1時：1/2の大きさや、意味を理解する。

○本時の展開（第1時）

時間	主な学習活動	・留意点 ○支援 ☆評価
	<p>①課題把握 うさぎ（笑顔）、うさぎ（泣いている）の表情 【問題】2人で分けましょう 折り紙を使って、2人で分ける うさぎ（笑顔）、うさぎ（笑顔）の表情 【問題】いろいろなものをなかよく分けよう 【めあて】「なかよく」分ける分け方を考えて、分けた形をくらべてみよう</p> <p>②自力解決 様々なものを使って半分にしていく。</p> <p>③集団検討 自分の考えをペアの人に分かりやすく説明をする。 キーワード：同じに分ける、いっしょ、等しい、半分</p> <p>④まとめ 同じ大きさに2つに分けた1つ分をもとの大きさの二分の一といい、1/2と書く。</p> <p>⑤次時 分数の大きさについて理解を深めよう</p>	<p>・2匹のうさぎの表情に着目させる。 ○どのように（折る、切る）分けるのかを確認する。</p> <p>・なかよくとは、どのような分け方なのかを確認する。</p> <p>○何を調べるかは、説明できそうなものを選択させる。 ・自力解決、グループ解決、場面に応じて選択させる。</p> <p>・自分の考え方と同じところや違うところを意識させながら聞かせる。</p> <p>・児童の言葉でまとめをする。</p> <p>〔思〕〔発言・記述・観察〕 具体物のもとの大きさに着目し、操作によって得られる大きさを表す分数の意味や大きさについて考えている。</p>